



重江良樹 監督作品
『さとにきたらええやん』



上映会

ゆめパ のじかん



yumepa-no-jikan.com



神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」＝通称「ゆめパ」。
遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、
子どもたちのかけがえのない「じかん」を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

監督・撮影：重江良樹 構成・プロデューサー：大澤一生 編集：辻井 潔 音楽：児玉 孝典 制作協力：認定NPO法人フリースペースたまりば
撮影協力：川崎市、川崎市子ども夢パーク、公益財団法人川崎市生涯学習財団、夢パーク支援委員会、ちいれん(地域で子育てを考えよう連絡会)、風基建設株式会社
製作：ガーラフィルム、ノンデライコ 宣伝：ウッキー・プロダクション、リガード 配給：ノンデライコ 2022/日本/90分/日本語/カラー/ドキュメンタリー
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 推薦：厚生労働省社会保障審議会

日時：2023年3月21日(火・祝) 10:30 (開場 10:00)

会場：青戸地区センター4F・ホール

参加費：1000円(中学生以下無料)

主催：かつしか子育てネットワーク/かつしか子ども・若者応援ネットワーク
かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク

申込みは
QRコードから





何をしてもいい。何もしなくてもいい。
きみは、きみのままでいい。

「ゆめバ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。くるくと踊る子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめバにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。ゆめバの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。



下記の講座は、「わがまち楽習会」子どもの権利に関する連続講座の4回目【「子どもの権利条例」と子ども夢パーク】です。

〔第2回「子どもを『お客さん』にしない方法」 1月22日(日)10時～12時 立石地区センター別館 集会室〕
〔第3回「子どもの権利について話そう」 2月19日(日)14時～16時 立石地区センター別館 集会室〕

上映会は「わがまち楽習会」ではありませんが、講座をより楽しくするために3つのネットワークで企画しました。ぜひ上映会&講座にご参加ください。

子どもの権利に関する連続講座《全4回》

わがまち楽習会

第4回「子どもの権利条例」と子ども夢パーク



「かわさき子ども夢パーク」は、子どもが自分の責任で自由に遊び、学び、つくり続けていく子どもの居場所です。

「川崎市子どもの権利に関する条例」制定と、その理念を基につくられた「かわさき子ども夢パーク」設立に関わったお話を聞きます。



◆日時：3月21日(火・祝) 13:30～15:30

◆会場：青戸地区センター4F・ホール

◆対象：中学生以上 50人

◆講師：山田 雅太さん

(子どもの権利フォーラム 顧問/NPO 法人教育活動総合サポートセンター理事長)



申込みは、
QRコードから
申込開始
2/17午前10時

【問合せ】◆かつしか子育てネットワーク k_childnet@yahoo.co.jp

◆生涯学習課 TEL 5654-8512 (直通)

【主催】かつしか子育てネットワーク/葛飾区教育委員会

【協力】かつしか子ども・若者応援ネットワーク/かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク